

Mizuho Daily Market Report

2023/1/13

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	131.59	129.25	▲3.20	▲4.16
EUR	1.0763	1.0853	+0.0096	+0.0331
AUD	0.6901	0.6969	+0.0065	+0.0217
SGD	1.3307	1.3252	▲0.0060	▲0.0203
CNY	6.7584	6.7295	▲0.0355	▲0.1509
MYR	4.3655	4.3590	▲0.0112	▲0.0288
THB	33.43	33.36	+0.01	▲0.60
IDR	15338	15338	▲145	▲270
PHP	55.33	55.32	+0.52	▲0.46
INR	81.66	81.55	▲0.02	▲1.00

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.440%	▲9.9 bp	▲27.8 bp
日本(10年)	0.510%	+0.5 bp	+7.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.159%	▲4.5 bp	▲15.7 bp
オーストラリア(5年)	3.350%	▲13.4 bp	▲25.0 bp
シンガポール(5年)	2.738%	▲0.7 bp	▲3.5 bp
中国(5年)	2.679%	▲0.9 bp	+7.0 bp
マレーシア(5年)	3.799%	▲0.7 bp	+1.9 bp
タイ(5年)	1.930%	+0.3 bp	▲5.4 bp
インドネシア(5年)	6.411%	▲5.5 bp	▲21.1 bp
フィリピン(5年)	6.178%	▲21.7 bp	▲29.6 bp
インド(5年)	7.143%	▲0.7 bp	▲8.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,189.97	+0.6%	+3.8%
N225(日本)	26,449.82	+0.0%	+2.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,126.68	+0.7%	+4.2%
ASX(オーストラリア)	4,264.75	+1.0%	+2.1%
FTSTI(シンガポール)	3,267.78	▲0.1%	▲0.8%
SSEC(中国)	3,163.45	+0.1%	+0.3%
KLSE(マレーシア)	1,488.66	+0.1%	+0.5%
SETI(タイ)	1,687.45	+0.1%	+1.4%
JKSE(インドネシア)	6,629.934	+0.7%	▲0.4%
PSE(フィリピン)	6,833.53	+1.9%	+1.1%
SENSEX(インド)	59,958.03	▲0.2%	▲0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	273.77	+0.9%	+3.8%
金	1,897.09	+1.1%	+3.5%
原油(WTI)	78.39	+1.3%	+6.4%
銅	9,107.50	+0.0%	+8.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	128.60	—	130.30
EUR/USD	1.0740	—	1.0930
AUD/USD	0.6880	—	0.7030
USD/SGD	1.3190	—	1.3270
USD/CNY	6.7000	—	6.7400
USD/MYR	4.3300	—	4.3680
USD/THB	32.95	—	33.40
USD/IDR	15250	—	15450
USD/PHP	54.60	—	55.40
USD/INR	81.05	—	81.80

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

ドル円はアジア時間早朝に報じられた日銀が来週の金融政策決定会合で大規模緩和の副作用を検証するとの報道をうけ131円台後半まで下落し、同水準でアジア時間オープン。仲値にかけて132円台を回復するも、その後は日銀政策修正への思惑もあり上値の重い推移が続き、131円台で海外時間に渡った。

アジア通貨は全般的に堅調推移となった。日銀の大規模緩和の副作用点検の報道を受けた円買いドル売りに牽引される格好で新興国通貨が上昇する展開となった。

海外市場のドル円はCPI結果発表を前に、日銀が大規模緩和の副作用を点検するとの報道を受け、金融政策変更の思惑に円買いが強まり130円台後半にてNYオープン。朝方は、CPI結果発表を前に、弱い結果期待からドル売りが先行し、130円台前半まで下落するが、予想と一致したことから一旦ドルが買い戻される展開に131円台前半まで反発。しかし、次回のFOMCで50bpの利上げ期待が後退する中、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁が25bpの利上げを支持する発言をし、ブラード・セントルイス連銀総裁も「インフレは高すぎるが落ち着いてきている」と発言したことからドル売りの流れに。NY時間午後発表された米30年債の入札結果も良好であったことから、昨年の6月1日以来のレベルである128円台後半まで下落する。NY時間午後には調整の動きも見られ129円台前半でクローズした。

【金利】

米金利は大幅低下。米12月CPIの結果は市場予想通り前を下回る数値となり、インフレの鈍化傾向が示されたため発表後に急低下した。しかしその後まもなく、上昇に転じる荒い値動きとなった。その後は次回FOMCでの利上げが25bpsとなるなどの観測が強まったことで再度低下し、前日終値比では大幅低下で終了した。

【予想】

ドル円相場は上値の重い推移を予想。昨日は来週の日銀決定会合に関する報道が円買い材料になったことに加え、米12月CPIの結果はインフレの鈍化傾向を示す結果となりドル円は大きく下落。ドル円の上昇材料に乏しい状況下、一段の下落に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 12月 マネーストックM2、M3
(日本) 国債入札(5Y)
(アジア) 11月 豪 住宅ローン額 / 投資家ローン額 / 持家住宅ローン
(アジア) 12月 イト* 輸出 / 輸入
(アジア) 4Q 中国 GDP
(アジア) 韓国 金融政策会合
(欧州) 11月 ユーロ圏 貿易収支 / 鉱工業生産
(欧州) 11月 英 GDP / 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 12月 仏 CPI(確)
(欧州) 12月 西 CPI(確)
(欧州) 2022年 独 GDP
(欧州) 2022年 独 財政
(欧州) チェコ大統領選挙(第1回投票)
(米国) 12月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) ミシガン大学消費者マインド(速)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。